

も10%を越えている。

4. 2002年度総会資料について
総会資料の内容を確認した。

5. その他

天気編集担当書記の待遇について今後検討することとした。

第31期第7回理事会議事録

日 時：2002年5月22日（水）18時15分～19時30分

会 場：大宮ソニックシティ（7階会議室703号）

出席者：廣田，二宮，勝山，神沢，木田，近藤，澤井，
住，竹村，田中（博），田中（浩），中澤，新
野，平木，藤部，藤吉，萬納寺，山岸，山内，
以上19名。

その他の出席者：和田，塩原，佐藤（国立極地研，以
上大会実行委員），館，島村（以上事務局）

議 事

1. 2004年度日本気象学会春季大会の担当機関について

気象庁を担当機関とする2004年度春季大会について準備委員会で打ち合わせを行なったこと，来年実行委員会を立ち上げることが報告された。気象台，気象庁担当の姿を考え直す必要があるとの意見があった。

2003年度春季大会は筑波大学が担当し，5月21～24日エポカル筑波で開催することが報告された。土曜を含む4日間開催を試みる。

2. 総会参加票の集計について

参加票の有効投票数，記された意見などが報告された。

3. 学会事務局と電子情報および数値予報グリッドデータ

会員，会員外からの問い合わせ，連絡用のメール

アドレスを理事連絡用とは別に設け，事務局で使えるようにする方向で検討することとした。

気象庁の数値予報格子点値をインターネットを通じて入手できるようなシステムが6月から正式運用予定で現在試験運用中であり，5月15日現在26件の利用申し込みがあったことが報告された。

4. 日・中・韓の学術交流について

学術交流にさまざまな形態が考えられるが，実現するように議論を続けることを確認した。

5. 理事会の日程について

第31期第22回常任理事会，第31・32期合同理事会および第32期第1回理事会を6月18日に開催する。

6. 2002年度総会資料について

総会資料の内容を確認した。

7. 第23回国際測地学・地球物理学連合総会からの募金活動協力をお願い

木田理事を気象学会の募金担当者としてすることとした。

平成14年6月18日

社団法人日本気象学会

議 長 萬納寺信崇

署名人 勝山 税

署名人 澤井哲滋